



特集

薬に 込められた想い

人類は、はるか昔から身近にあるものを病気やケガの治療に用いてきました。古くはメソポタミア文明において、薬として利用される植物や動物、鉱物に関する記述が残されています。日本でも、古来さまざまな薬が生活に取り入れられてきました。例えば「お屠蘇」は、いくつかの生薬を入れた薬酒の一種で、一年の無病息災を願い今もお正月に飲まれています。現在、日本の医療機関などで保険診療に用いられる医療用医薬品は、およそ1万6千種類。研究が進み、次々に新しい薬が生み出されています。

人は病気や痛みと無縁ではいられません。薬草を探し求めたいにしろの人々も、医療の進歩した現代に生きる私たちも、健康でありたいという想いは同じ。薬には「健やかに過ごしたい」という変わらぬ願いが込められているのです。

薬にまつわる 身近なコトバ

手加減の加え方のことを「さじ加減」と言いますが、これは薬を調合するときに「さじ」を用いたことから。江戸時代には、将軍や大名の侍医、御典医は薬さじを使うことから「おさじ」と呼ばれていたとか。

知ってた?! 水戸黄門の印籠って、 薬入れなんです

「この紋所が目に入らぬか!」と懐から取り出す三つ葉葵の印籠——時代劇『水戸黄門』のクライマックスのシーンとして有名ですね。

「印籠」という名前のとおり、もともとは印鑑の入れ物。それがやがて、腰からさげる携帯用の薬入れとして使われるようになり、江戸時代には男性用のアクセサリーに。時絵など精緻な技巧を凝らした高級品もあるんですよ。





薬剤師さんに 聞きました!



薬剤部 部長 木村 健

私が、
お答えします!

Q.

薬を飲むタイミングに迷うことがあります。正しい飲み方は?

A.

「食前」や「食間」と書いてあっても、どのタイミングで飲めばいいのかわかる方もいらっしゃいますよね。「食間」の薬を食事の最中に飲むというのはよくある笑い話です。

薬を飲むタイミングはその薬の効き方に合わせて決められています。「食後」に飲む薬が多いのは、胃腸への負担を少なくするというだけでなく、食事の後に飲むほうが飲み忘れをしにくいからでもあります。

最近では「食事30分前」のように、飲むタイミングが具体的に示されていることが多いので、指示を確認するようにしましょう。

薬を飲む時間の目安



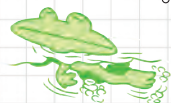
Q.

つい薬を飲み忘れてしまうことが…。飲み忘れたらどうすればいいですか?

A.

ほとんどの場合、気づいたときにすぐに服用するか、次の服用時間が近ければ忘れていた分は服用せず、次の分を飲めば問題ありません。

しかし、中には抗生物質など、指示どおりに服用しないといけない薬も。また、医師も薬剤師も、患者さんが薬をすべて飲んでいないことを前提に病状などを判断します。最も怖いのは、飲み忘れていてただけなのに「薬が効いていない」と判断して増量したり強い薬に変えたりしてしまうこと。飲み忘れてしまうことがあれば、ぜひ正直に伝えてくださいね。



Q.

「お薬手帳」って必要ですか?

A.

自分の病気のことや飲んでる薬のことを知り、自分で管理するというのはとても大切なこと。薬の服用履歴などを記載する「お薬手帳」は、ぜひ持っておいてください。どんな薬を飲んできたかが分かるので、急病や事故の際だけでなく、災害時などカルテが無いような状況でもとても役立ちます。

Q.

薬でもアレルギーを起こすことがありますか?

A.

まれですが、アレルギー反応が起きることがあります。発疹や、皮膚や目のかゆみなどがよくある症状です。そのような症状が出たら、服用をいったん中止し、すぐに医師や薬をもらった薬局に相談を。服用をストップしていいのかわからない薬によるアレルギー症状なのかを判断する必要があります。ですので、連絡しましょう。

Q.

もらった薬が余った場合、次に同じ症状が出たときに飲んでもいいですか?

A.

薬は、症状の原因に合わせて処方されています。自分で同じ症状だと思っても、薬をもらったときと原因が同じとは限りません。余った薬を自己判断で使ったり、人にあげたりするのはやめましょう。

Q.

兵庫医科大学病院には、薬剤師は何人くらいいるのですか?

A.

全国的にみても、すべての病棟に薬剤師がいる病院はそれほど多くありませんが、兵庫医科大学病院では全病棟に薬剤師を配置しています。手術室やICUなどにも専属の薬剤師がおり、すべて合わせると80名ほどになります。

Q.

大病院での薬剤師の仕事はどのようなものですか?

A.

薬の管理はもちろん、薬が患者さんに合ったものかどうかの確認をしたり、専門的な知識を持った薬剤師が注射薬や抗がん剤の調製を行ったりしています。また、入院時に服薬状況などについてお伺いするなど、患者さんと接する機会も増えてきています。

新しい薬がどんどん出てきて管理も複雑になる中で、お一人おひとりの患者さんに、より質の高い医療を提供できるように努めています。

【お薬相談室】

兵庫医科大学病院1号館1階待合ホールの一角に「お薬相談室」を開設しています。薬についてご不明な点などがあればご相談ください。

お薬相談室

